

太融寺だより

令和5年号

発行所 高野山真言宗 佳木山 太融寺
 〒530-0005
 大阪市北区太融寺町三十七
 ☎ 06-6321-5480
 麻生 祥光
 発行日 令和五年一月一日

「言辞施」



太融寺住職
麻生 祥光

私が二十代前半の頃、はじめてお招き頂いた結婚披露宴のことです。二歳年上の先輩僧侶が、新郎の友人代表としてスピーチをしました。大勢のご来賓を前にしても、いつもと変わらぬ落ち着いた様子のまま、「詩」を暗唱しながらの心温まる祝辞を述べられたのです。決して用意してきた紙を見ることもなく、堂々と振る舞うその雄姿を、私は、只々凄いなと羨望の眼差しで見っていました。それとともに、のちに有名な詩だと知るのですが、その頃の私には、この詩がとても心に響きました。

「ひとつのことば」
 ひとつのことばで けんかして

ひとつのことばで なかなかおり
 ひとつのことばで 頭が下がり
 ひとつのことばで 心が痛む
 ひとつのことばで 楽しく笑い
 ひとつのことばで 泣かされる
 ひとつの心をもっている
 きれいなことばは きれいな心
 やさしいことばは やさしい心
 ひとつのことばを 大切に
 ひとつのことばを 美しく
 「言霊」という言葉があります。昔から言葉には霊が宿り、言が事を呼び寄せて実現すると考えられてきました。良い言葉を発すると良い事が起こり、不吉な言葉を発すると悪い事が起こる。病院で検査を受けた時に、先生から「再検査しましょう」と言われれば、患部はもとより身体のあらゆる箇所の具合が悪く感じて、時には心まで塞ぎ込みます。また、再検査の後、「問題ないですね」と言われた時には、先生が仏さまのように見えて、

天にも昇る気
 持ちでホッと
 します。言葉
 には、不思議
 な力があるの
 です。
 財が無くて
 もできる施し
 の修行の一つ
 に、「言辞施」
 があります。
 「ありがとう」「お世話になります」という感謝の言葉や「ごめんなさい」という素直な言葉はもちろん、「こんにちは」「いらっしやいませ」と心をこめて挨拶する施しのことです。相手を思いやった温かい言葉は、気持ちとを和らげ、時には勇気を与え、お互いの心を繋げていきます。一方、心無い冷たい言葉は、その場を凍らせ、何一つ良いものを生みませんと。仕事場で、気心知れた友人や身近な家族との間で、何気ない日常のつもりが、相手にとっては重要な一幕のこともあります。自分が発した一言で、相手の人生が左右されるかもしれません。ひとつのことばを大切に、日々の生活を過ごしていきたいものです。



境内紹介

本堂

太融寺における信仰の中核となるお堂です。

ご本尊の千手観世音菩薩立像は、像高三尺、四十二臂、宝髻から地付きまで一木で彫出されています。平安時代の作で、寺伝には嵯峨天皇の念持仏を下賜されたものと記されています。通常は、須弥壇の御厨子におさめられています。ですが、年一度、一月十八日に御開帳いたします。毎月十八日、午後一時より観音経読誦会を厳修しており、参加者のみ読経後に内陣を参拝して頂くことができます。(予約不要、参拝料は賽銭箱に志納)

お前立及び、

脇仏の地藏菩薩と毘沙門天は、

昭和五十年代に納められたもので、両界曼荼羅、真言宗の八祖大師が祀られています。



昭和三十五年再建

本尊 千手観世音菩薩

ご真言 おん ばざら たらまきりく

新西国三十三所霊場 第二番札所

おおさか十三仏霊場 第八番札所

神仏霊場 第五十一番札所

辯天堂

辯才天さまをお祀りし、諸芸上達を願う方々をはじめ、雄弁の智慧をもった神さまで、弁舌、福德、諸芸上達を願う多くの方々に福德の神さまとして信仰されています。

戦前までは本堂の西側(現在の鐘楼あたり)に祀られており、戦災によって焼失したままになっていましたが、平成二十九年十二月、一願堂の北東側に北野辯才天として再建いたしました。

ご真言 おん そらそばていえい そわか



月例行事

(事前申込不要・自由参加)

願不動護摩祈祷 (於 護摩堂)

八日 二時、四時

十八日 二時、四時

二十八日 十時、二時、四時

真言密教の秘法により、無事息災・身体健全・商売繁盛・事業繁栄・良縁成就・入試合格など、所願成就の祈祷をいたします。祈祷日以外でも護摩木の受付はいたします。

○所要時間 約三十分

観音経読誦会 (於 本堂)

十八日 午後一時

ご本尊千手観世音菩薩の御前で、観音経をお唱えいたします。読経の後、内拝ができます。

○参加費 賽銭箱に志納

○所要時間 約三十分

大師堂先祖塔婆廻向 (於 大師堂)

二十一日 午前十時〜正午

ご先祖をはじめ、ご親戚・ご友人など縁ある方々の霊を経木塔婆にて供養いたします。御供所にて受付をすませ、大師堂内にお進みください。受付順に個別に供養いたします。

○一 霊 五百円

○所要時間 約五分

行事紹介

四国八十八カ所霊場お砂踏み

お砂踏みとは、霊場の各寺院より頂いた「お砂」を納め、その上を順に踏みながらお参りすることです。様々な事情によって四国遍路の旅に出かけるのが困難な方々のため、約四百年前に考えられた巡礼方法だと言われています。

太融寺では、年に一度、本坊二階の大講堂にお砂踏み道場を開設し、一番霊場から順に各ご本尊さまの掛け軸をお祀りし、それぞれのご本尊さまの下に「お砂」を納めた小振りの座布団を設置いたします。各霊場のご本尊を前に心を込めてお参りすれば、四国遍路をしたのと同じ功德があると言われていています。どうぞお誘い合わせの上、ご参拝ください。



日時 七月六日～八日 十時～十六時
場所 本坊二階 大講堂
奉納料 千円

幼没・水子地藏尊法会



ちを見守ってくださいます。

太融寺の地藏菩薩像は、愛する子供たちの健やかな成長を願い、また悲しい運命の故に亡くなられた幼きいのちの冥福を祈るため、昭和五十二年、西境内に建立されました。それ以来、毎年十月二十四日には幼没・水子地藏尊法会を厳修しています。
錫杖を手にし、両腕に幼子を抱くお姿には、救いを求める幼子たちに安らぎを与えるため、いつでもどこでも出向いて行きましようという優しい心が表れているのです。

お地藏さまは、大地が多くのいのちを育むように、私たちの心を清らかに成長させてくださる仏さまです。そして、大地のように堅固で大きな慈悲の心で私たちを見守ってくださいます。

日時 十月二十四日 九時～十二時
場所 西境内 地藏尊前
供養料 千円（一霊）

ご供養・ご祈祷のご案内

個別でのご供養・ご祈祷を事前申し込みにて承ります。特に土・日・祝日は予約が集中しますので、ご希望の方は出来るだけ早くご相談ください。

- ご供養の例
 - ・ご法事、納骨、祥月命日
 - ・お仏壇・お墓の開眼（お性根入れ）
- ご祈祷の例
 - ・特別一座護摩祈祷
 - ・太鼓と読経による一座祈祷
 - ・自動車の交通安全祈祷
- その他
 - ・地鎮祭、上棟式
 - ・仏前結婚式

写経写仏の会

於 本坊二階大講堂

毎月一日と第二土曜日（午後一時～四時半）に写経写仏の会を開催しています。喧騒とした日々の中、ここを落ち着ける時間を過ごしてみませんか。

- 参加費 千二百円（用紙代・奉納料込）
- 筆は各自ご持参ください
- 写経か写仏をお選び頂けます
- 一月一日と八月はお休みです

ご自宅用の太融寺写経用紙セット（十枚二千円、写経の手引き付）もごさいます。写経受付または御供所にてお申し出ください。

献灯のおすすめ

仏さま神さまのご恩徳に感謝し、真心の一燈を献じて、日々明るく正しい道を歩むことができ、智慧を授かりましょう。

提灯・灯籠にはお名前を明記いたします。



- 一願不動 一年間 一万三千元
- 白竜大神 一年間 七千元
- 北門参道 一年間 三万円

永代供養のご案内

ご先祖を祀る後継者がいなくてお困りの方は、お位牌による永代供養を受け付けております。永代供養のお位牌は、八角堂にてお祀りいたします。また、お墓の後継者がいなくてお困りの方は、合祀によります太融寺永代供養塔がございます。詳しくは寺務所までご相談ください。



護摩木祈禱奉納料改定のお知らせ

昭和、平成に亘り続けてまいりました護摩木祈禱奉納料を、左記の通り改定いたしました。何卒、ご理解賜りますようお願いいたします。

護摩木 一本一願

(旧) 三百円 ↓ (新) 五百円

令和五年四月一日より

寺子屋ほっと

法話って聞けますか、仏教についてわかり易く知りたいですなど、さまざまなお声を頂きます。当寺では仏教・文化・くらしの講座「寺子屋ほっと」(月1回土曜)を開講しています。インターネットからの登録・予約で、檀信徒に限らず、どなたでも、どの月からでも参加することができます。(初回登録料2000円、一講座1000円～)。

令和5年度は、「七夕と仏教」、「聖徳太子と仏教伝来」、「十三仏信仰」などの講座をいたします。詳しい講座内容や申込方法については、「寺子屋ほっと」の案内パンフレットかホームページ (<http://www.taiyuji.com/hot/>) をご覧ください。皆さまのお越しをお待ちしています。

